



オンラインプレゼンテーション技術 DX		時間	10:00~17:00(6時間)
		受講料	2,200円(税込)
内容	対面形式とオンライン形式のプレゼンテーションの違いを理解し、オンライン形式に適したプレゼンテーション技術を習得します。 ●オンラインによるプレゼンテーション技術概論 ●オンライン形式に適した資料作成 ●オンライン形式に適した発表プレゼンテーション技法 ●オンラインに適した環境 など		
対象	パソコンの基本操作ができる方		
コース番号	日程	定員	会場
124-313	8月4日(月)	10名	株式会社ウィル(JR/京急線「横浜駅」徒歩10分) (横浜市神奈川区栄町1-1 KDX横浜ビル 5階研修会場)
			 

講義内容	
1. オンラインによるプレゼンテーション技術概論	
(1) オンライン形式によるメリットとデメリット	・対面形式とオンライン形式のプレゼンテーションの違い、メリット・デメリット、オンライン形式ならではのコミュニケーション上の問題と対応方法等について
(2) ターゲットに合わせた情報調整	・プレゼンテーションの目的およびターゲットの明確化と情報収集の必要性について ・プレゼンテーションする対象者を分析し、対象者の知識レベルに合わせた説明を行う必要性について
2. オンライン形式に適した資料作成	
(1) スライド作成のセオリー 【演習あり】	・プレゼンテーションソフトにて、相手に伝わりやすいスライドを作成するためのセオリーとテクニックについて
(2) 視覚効果を意識したデザイン 【演習あり】	・効果的な色使いや視覚性を高める図解化など、訴求力を高めるポイントについて ・文字のレイアウト、大きさやスライドの配色が与える印象の違いや画像やアニメーションのもたらす効果について
3. オンライン形式に適した発表プレゼンテーション技法	
(1) オンライン形式によるプレゼンテーションの基本と注意点 【演習あり】	・一方通行になりやすいオンライン形式の特徴を踏まえたプレゼンテーションの実施要領について
(2) 顧客目線に立った伝え方 【演習あり】	・相手の共感を得るテクニック(表情、アイコンタクト、ラポール)、TPOに応じた話し方等について ・代表的な説明話法(要約化、短文化等)、文章の組立て方(序論・本論・結論、PREP法、NLC法等)等について
4. オンラインに適した環境	
(1) 必要な機材、通信環境と推奨する実施環境	・オンラインプレゼンテーションに必要な機材、ツール、必要な準備等について
(2) オンラインプレゼンテーション 【演習あり】	・Web会議用ソフトとプレゼンテーションソフトを用いたオンラインプレゼンテーションを行う

【お問い合わせ先】 〒241-0824 横浜市旭区南希望が丘78番地
 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川支部
 ポリテクセンター関東 生産性センター業務課 TEL:045-391-2819

